



SISTER CITIES NEWS

姉妹・友好都市ニュース

International Friendship Association of Ibaraki

Vol.79 2022.12.12

茨木市国际亲善城市协会

茨木市歴史文化姉妹都市竹田市への表敬訪問の様子



CONTENTS —目 次—

- 第39回英語スピーチ大会が開催されました! 2
- 茨木市歴史文化姉妹都市竹田市への表敬訪問 3
- (一社) 茨木カンツリー倶楽部 青少年国際交流助成事業の報告について 4~5
- ふれあい交流 オーストラリア先住民アボリジナルピープル“ブーメラン体験”開催! 6
- 中国語教室スペシャル企画 安慶市へ茨木市の子どもたちからの交流メッセージ作成! 6
- 通訳ボランティア制度・活動団体を紹介します! 7
- 茨木市国際親善都市協会のホームページをご覧ください!、MINNIBARAKIに記事を投稿してみませんか? 8



第39回茨木市国際親善都市協会英語スピーチ大会開催

令和4年10月30日(日)に茨木市、茨木市教育委員会・本協会で共催している、第39回茨木市国際親善都市協会英語スピーチ大会を開催しました。コロナ禍で3年ぶりの開催となり、感染拡大防止のため一般客の来場を制限するなど、感染対策に配慮しながら、中学生15人、高校生5人の方に出場いただき、大変ハイレベルなスピーチばかりで大会を盛り上げていただきました。

中学生は指定暗唱文を、高校生は自分で考えた内容を審査員の先生の前でスピーチしました。緊張の中、勇気を出してスピーチしている皆さん1人1人が大変輝いていました！

中学生の部 指定暗唱文「A Glass of Milk」

第1位	大橋 柚妃さん	茨木市立東中学校	3年生
第2位	田中進太郎さん	茨木市立南中学校	3年生
第3位	島田 朋典さん	高槻中学校	1年生



中学生の部1位 大橋柚妃さん

高校生の部

第1位	林 芯姫さん	大阪府立福井高等学校	2年生
------------	--------	------------	-----

The Power of Multilingualism / 多言語の力

概要 | コスモスクラブの友達と多言語で会話することで、その人や文化をより理解できた。これから地球市民としてさらに世界のことを学びたい。

第2位	西野 真心さん	大阪府立春日丘高等学校	2年生
------------	---------	-------------	-----

The importance of “safe spaces” / “セーフスペース”的大切さ

概要 | 心が落ち着く、スペース。これこそが、人間の健全な共生のための第一歩だ。セーフスペースを作り出す力が、私たちにある。

第3位	山口 隼さん	関西大倉高等学校	1年生
------------	--------	----------	-----

Don't get caught up in stereotypes / 固定概念に囚われるな

概要 | 日常生活のみならず、社会問題にまで影響を及ぼす固定概念これらの影響を払拭するために“今、私達ができるることは何か”



高校生の部1位 林 芯姫さん

中学生暗唱文 A Glass of Milk

Once, a poor young boy was selling candy door-to door-. He was earning money to go to school. He was very hungry, but he had only a few coins.

The boy went to a house to sell candy. He knocked on the door and a woman opened it. She said, “I have no money for candy.” She was not well-off herself.

When the boy was about to leave, the woman said, “Wait.” She felt sorry for him because he looked very hungry. So she brought him a glass of milk.

When he finished drinking the milk, the boy felt much better. He took the coins out of his pocket, and said, “Thank you for the milk.” The woman replied, “You don’t need to pay. We don’t need money for kindness.” Before he left, she said, “Be strong, young man, and you’ll have a great future.” Thanks to her kindness, the boy felt stronger than before, and walked away with a smile.

After that day, the woman sometimes wondered about the boy. She hoped he was doing well.

The years went by and the woman got old. One day, she felt ill and fell down in front of her house. The local doctor could not help her, so he sent her to a big hospital in the city.

The doctors had to give her an operation right away. When she woke up, she was happy to be alive. Then she realized, “I have no money for this operation. What should I do?”

The next day, a doctor came to her room. He had an envelope in his hand. He gave it to her and said, “Here’s your bill for the operation.” She was afraid to look inside. He smiled and said, “Open it, please.” Inside there was a note. It said, “Paid in full, with one glass of milk.” Then she looked up and recognized the boy in the doctor.

«出典»中学生2年生向け英語教科書「New Horizon」シリーズから引用しています。

茨木市歴史文化姉妹都市 竹田市への表敬訪問

11月24日(木)～25日(金)の日程で、本協会の城谷会長をはじめとする協会役員が茨木市歴史文化姉妹都市の大分県竹田市を表敬訪問してまいりました。昨年4月に土居昌弘市長が就任されてから初めての訪問で、天候にも恵まれ両市の友好を改めて深めることの出来た二日間でした。



コロナ禍により控えておりました、竹田市への表敬訪問が実現し、両市のさらなる交流の発展に繋がる有意義な時間となりました。

1日目は、竹田市総合文化ホール「グランツたけた」、歴史文化館「由学館」、国指定史跡「岡城跡」等の観察をし、竹田市の歴史・文化にふれました。

2日目はTAOの丘、くじゅうワイナリー等を訪問し竹田市の大自然の素晴らしさを満喫しました。

両日、竹田市のご厚意により観察先では、職員の方にご案内いただき、無事に表敬訪問を終えることが出来ました。今後も末永い交流を続けていく事の大切さを再確認した訪問になりました。



土居市長(右)と城谷会長(左)



TAOの丘



歴史文化館「由学館」

茨木市民の方は姉妹都市の竹田市、小豆島町に宿泊される場合に宿泊費用の一部負担制度があります。

対象 小学生以上の茨木市民

回数 年度内に各市・町で1回

宿泊施設 茨木市の指定宿泊施設 (詳しくは茨木市HPへ)

補助額 竹田市 ▶ 中学生以上5,000円・小学生3,000円
小豆島町 ▶ 中学生以上2,000円・小学生1,500円

※小豆島には小豆島町と土庄町の2つの町があります。小豆島町にある宿泊施設のみが補助の対象になりますのでご注意ください。

茨木市HP「竹田市・小豆島町宿泊補助制度」のページのQRコードはこちら



茨木市



小豆島町

(一社) 茨木カンツリー倶楽部

青少年国際交流助成事業

当協会では、茨木市国際親善都市協会主催・共催事業や海外や国内外姉妹都市等でのスポーツ・文化交流に参加する市内の青少年（満24歳以下）または青少年団などに助成しています。

今年は本助成制度を利用され、一般社団法人ラボ国際交流センターの青少年たちがアメリカの各州に行かれました。

一般社団法人ラボ国際交流センター国際交流参加者報告

テキサス州 参加 ▶ 上田 一翔(高1)	カンザス州 参加 ▶ 宮下 凜(中2)
ペンシルバニア州参加 ▶ 川端 奈緒(大4)	ユタ州 参加 ▶ 森藤 美織(大3)
カンザス州 参加 ▶ 篠田 侑佳(大4)	以上5名



テキサス州にて

テキサス州は乾燥した暑い気候。出会った人たちはみんな、州を愛する気持ちの強い人たちでした。

テキサスとカウボーイは深く関係しているので、ホストファミリーは「カウボーイになってないのに日本に帰らせるわけにはいかない」と言って、カウボーイの服装一式を買ってくれ、家のすぐ隣の平原に移動して、放牧してある馬に乗せてくれました。馬の高さや平原の広さに驚きましたし、僕にいい体験をさせようと色々なことをしてくれたホストファミリーにとても感謝しています。

僕は今回のホームステイを通して、新たな考え方や視点を持てるようになることが目標でした。アメリカの文化や出会った人たちの優しさに触れ、たくさんの経験をすることが出来ました。正直、今はまだとても楽しかったなという思いが強く、この目標を達成出来たと感じることは出来ていませんが、この1ヶ月は自分にとって、とても価値のあるものだったなと思います。(上田 一翔)

ホストファミリーとは何度も旅行をしましたが、Black Hillsの洞窟を行った時の帰り道、大きな岩を見つけ次第全部の岩に登って、みんなで決めポーズをしました。この日、ホストファミリーの「家族」の一員に成れた気がしました。私とホストファミリーのみんなで浴衣を着た時には私もこのためにホストのEmilyと同じ柄の物を買いました。

このタイプの浴衣を着るのが初めてで、着付けにすごく時間がかかるからてしまい、着崩れしてしまってるところもあるのですが、みんながとても喜んでくれたので嬉しかったです。弟のAndreは協会にも着て行ってくれました。(宮下 凜)



カンザス州にて



私のホストファミリーは、ファザーが牧師さんで敬虔なクリスチャンのおうちでした。毎週何度も教会に行き、ステイ2週目には教会でのサマースクールがあってホストブラザーたちがこのスクールを運営していました。私もお手伝いをしましたが、ホームステイでしかこんな体験はできないな、貴重な経験をさせてもらったなと思っています。

今回の国際交流では、家族の大切さや、人の温かみをとても感じました。家族がとても仲良しでちょっとスーパーに行くだけでも必ずハグでお別れしていくびっくりしました。

また、私が暇そうにしていたら、話しかけてくれたり、日本に興味を持って色々なことを聞いてくれたり、教会であった人たちも仲間のように接してくれました。この2年間北米交流が途絶えていましたが、今年の夏実施出来て本当に良かったです。ホストファミリーの方々も、私たちと同じようにホームステイを楽しみにしていてくださっていたことが改めて分かりました。(川端 奈緒)



ペンシルバニア州にて

今年はコロナ禍での国際交流だったので、受け入れてくださるホストファミリーの変更もあり大変なこともありましたが、いつも以上に人の温かさを感じることのできたホームステイでした。

私のホストファミリーもとても優しく、他のラボっ子達の様子はどう?とずっと気に掛けてくれました。ステイ中も私が楽しめる様にと、ハイキングや写真にあるウォーターボードなどいろんな所に連れて行ってくれました。毎日過ごすなかで発見した文化の違いや何気ない会話がとても楽しかったです。ホストファミリーとお別れの日には、どこのファミリーも我が子との別れの様に悲しんでくれました。お世話になった、コーディネーター達への感謝の気持ちを込めて、ユタ州参加の子どもたち全員で準備をしてきた、日本の紹介やけん玉を披露し、持参したお土産をプレゼントしました。(森藤 美織)



ユタ州にて

忙しくて、楽し過ぎてあっという間の3週間でした。

私がステイしていたSaline Countyでは牛や馬、ヤギ、羊、豚などの動物だけではなく、野菜や果物、キルティング、ケーキなどが展示されていたり、音楽やバンドなどのパフォーマンスを見ることが出来ました。近くにホームステイしていたラボっ子達と一緒に、日本文化を紹介する機会をもらい、最初は緊張していたラボっ子もみんな回を重ねる事に笑顔で自分達の表現を堂々と伝えることが出来ました。私のホストは4H Fairと言う、大きなお祭りのようなものをたった一人で取り仕切、いわゆるスーパーワーマンでした。私に出来ることは、進んで手伝いをして周囲の人には彼女の秘書と呼ばれていました。少しでも彼女の力になれてとても幸せでした。ステイした市民会議に参加し、市長にお会いし、茨木市長からのメッセージもお渡しすることが出来ました。(篠田 侑佳)



カンザス州にて

ラボ国際交流プログラムは、10代の子どもたちに用意された異文化体験プログラムです。大人になる一歩前のエネルギーあふれる時期に、外国の家庭に1人で約1ヵ月間ホームステイし、家族の一員として生活することを通して、ことばや文化を全身で学びます。

お互いの考え方、表現の仕方、生活習慣、価値観の違いをまずは受け止める体験をする。10代の感性豊かな時期に、外国人の人たちの優しさに触れ、人と人の違いを認める体験をした子どもたちは、相手の立場を理解できる人間に成長してゆけます。頑張った自分に自信を持って、強く優しく柔軟に生きてゆけます。

(ラボ国際交流センター テューター 稲田とし子)

ふれあい交流 夏休み親子企画

『オーストラリア先住民アボリジナルピーブル
ブーメラン体験』を開催!!

8月6日(土)に開催されました、ふれあい交流夏休み親子企画としてオーストラリア先住民アボリジナルピーブルの暮らしやアートについて、アバロンスパイラルの三上賢治先生にお願いし、マニカイクラブの中原徹也さんと田中遼さんによるお話を聞いたり作品を鑑賞したりしました(^^♪貴重なアート作品を間近で見て絵柄の一つ一つに意味があることを知り、驚きとたくさんのこと学びました!!

当日はブーメラン投げ体験もあり、投げたら戻ってくるブーメランに大人も子どもも夢中になりました。さらに、中原徹也さんの伝統楽器ディジュリドゥの生演奏、田中遼さんの現地仕込みの歌のセッションにも感動しました(≧▽≦)
ディジュリドゥという楽器を初めて目にし形や大きさ、表面に施されたペインティング、お腹に響く音などに驚きを感じました。

歌の歌詞にも“自然”・“愛”・“動物”などが表現されているそうです。

大人も子どもも目を輝かせて、アボリジナルピーブルの世界を体験しました。



豆知識

オーストラリア先住民アボリジナルピーブル伝統楽器ディジュリドゥは白アリに食べられた筒状になったユーカリの木から作られる。複雑多岐に渡る演奏方法・使用目的がある。中には特殊儀礼に使われるディジュリドゥもある。

中国語教室スペシャル企画

“安慶市へ茨木市の子どもたちからの交流メッセージ作成”



9月10日(土)に開催されました中国語教室にて安慶市のお友達との交換ビデオメッセージの制作をしました!!

当日は、講師の山口小百合先生によるごあいさつメッセージの撮影、普段の授業風景、参加者からの一言メッセージの撮影、お友達へのメッセージカードの作成風景などを撮影しショートムービーにしました(≧▽≦)

緊張しながらも自分の名前、好きな事や物、お友達へのメッセージを撮影し、メッセージカードには日本文化の折紙でツルやポケモンのキャラクターや絵、メッセージを書きオリジナリティーあふれるメッセージカードを安慶市のお友達が喜んでくれることを願いながら作成しました!!

それを安慶市のお友達に送りました(^^♪



やまぐち さゆり
山口小百合先生



通訳ボランティア制度・活動団体を紹介します！

※新型コロナウイルス対策を行ったうえで、活動を実施しております。

通訳ボランティアにご協力ください！

あなたの外国語の語学力を生かして、茨木市の地域国際化にご協力ください！

日本語が不慣れなため、行政手続き等で困っておられる外国人の方々のため、本協会には「通訳ボランティア登録制度」があります(^^)!ご登録いただいた後は、ご都合に合わせて無理なく活動していただけます♪

英語以外にも、ベトナム語、ウクライナ語、ロシア語など、様々な言語で登録受付中です！少しでも関心をお持ちの方は、ぜひ本協会までお問い合わせください☆

通訳内容 ▶ 行政手続きや行政に関する相談の通訳や、チラシ等の翻訳（日本語から外国語への訳）

対象 ▶ 日本語・外国語の読み書き・日常会話ができ、手続き等の通訳やチラシの翻訳ができる方

登録方法 ▶ 登録申請書にご記入いただき、窓口・メール・FAXで、茨木市国際親善都市協会事務局までご提出ください

ご登録いただくと、必ず依頼を引き受けなければならぬわけではありません。まづご都合をお伺いし、活動に関しての日時や期間など相談にも応じます♪



Ibaraki Intercultural Network (IIN)

姉妹都市活動室(IIN)

姉妹都市活動室では、各国からゲストを招き英語でのスピーチを聞く例会を行い、国際交流を深めるための英語力を養っています♪また、茨木市の各名所の歴史を紐解き、その所以や由来などを英語で伝えられるよう、たくさん調べて積極的に活動しています！ぜひ一緒に活動してみませんか？

Zoomを活用してミネアポリス市とオンラインで繋ぎ、定期的にミーティングを行い、日本文化を伝えたり、茨木市の見どころを紹介したり、姉妹都市交流も楽しみながら継続中☆

例会日程 ▶ (8月を除き毎月実施)

第1木曜日：9時30分～11時30分
第3土曜日：14時～16時

場所 ▶ 茨木市福祉文化会館等

年会費 ▶ 2,500円(入会の際には、本協会の会員になる必要があります)

ホームページ <http://www.ibaraki-city-iin.com/>

学生、留学生、地域在住の外国人の皆さんも、どうぞお気軽にご参加ください(*^▽^*)

WE ARE FRIENDS!

「WE ARE FRIENDS!」では、ゲームなどを通して英語に親しむことができます♪ハロウィンパーティーやクリスマスクラフトなど、楽しいイベントが盛りだくさんです(*^▽^*)外国の文化も知ることができますし、新しいお友達もたくさんできちゃいます☆英語って苦手だなあ…というお子さんも、日本人スタッフが優しくサポートしますので、お気軽に遊びに来てくださいね！

講師 ▶ ひさのり 久徳ウェンディ先生

日程 ▶ 原則2,3,4,5,7,9,10,12月の第3日曜日

対象 ▶ 小学3年生～中学3年生

参加費 ▶ 一人300円(協会会員は無料)

申込方法 ▶ 開催月初めから本協会事務局まで電話または開催月の市広報誌に掲載している二次元コードで申込み



実用日本語学習会

日本語を母語としない方を対象に、基本的にマンツーマンで日本語学習の支援を行っております。マンツーマンだからこそ、いつでも、だれでも、自分のレベルに合わせて学習を始めることができます♪感染拡大防止のため、オンライン学習と対面学習(緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令期間は、オンライン学習のみ)での学習会を実施しています！(^▽^)

日本語を勉強したい外国人の方、日本語学習の支援を求めている外国人をご存知の方、ぜひお気軽にお問い合わせくださいね。お待ちしています！

とき ▶ 木曜クラス：13時30分～15:00

金曜クラス：10時00～11時30分

※オンライン学習の授業時間は60分

ところ ▶ クリエイトセンターもしくは福祉文化会館
(対面学習の場合)

ひょう ▶ 学習者2,000円(1期1クラス分)

※テキストは実費です。

支援者500円

ホームページ <http://www.ibaraki-nihongo.sakura.ne.jp/>

※新型コロナウイルスの影響により、内容に変更がある可能性があります。詳しくはお問い合わせください。

●通訳ボランティア制度・各活動団体について、れんらくするところ

茨木市国際親善都市協会事務局 TEL 072-620-1810 FAX 072-622-7202 mail:cadifai@city.ibaraki.lg.jp

茨木市国際親善都市協会のホームページをご覧ください!!

協会ホームページでは、「新着情報」・「募集情報」など、協会のイベントの情報を発信しています。また、姉妹都市活動室や実用日本語学習会のページ、多言語での情報発信をしているページの情報なども掲載しています。

ぜひチェックしてみてください!

茨木市国際親善都市協会ホームページ

<http://www.ifai.jp/>



MINNIBARAKIに記事を投稿してみませんか?

MINNIBARAKIとはMISCA(ミネアポリス市・茨木市姉妹都市協会)の皆さんがあなたが作成されているニュースレターのことです。現在2月、5月、8月、11月の年4回発行されています。協会会員の皆様もミネアポリス市の皆さんにメッセージを送ってみませんか?

ミネアポリス市との交流に関する事、日本文化の紹介、ご自身の国際体験など、ミネアポリス市の皆さんに読んでもらいたい内容なら何でもOK!写真と一緒に掲載することもできます♪なお、応募原稿は全て英語でお願いします☆皆様からのご応募お待ちしております♪

応募方法 申込書・応募原稿を協会事務局へメールで提出(申込書は協会HPからダウンロード、または窓口で配布)

応募締切 各号の3か月前の月末(例:11月号への応募なら8月末まで)

※発行状況によって変更になる可能性があります。



応募原稿について詳しくは本協会HPのMINNIBARAKIのページをご覧ください。▶

茨木市国際親善都市協会 会員募集!!

本協会では、茨木市の姉妹・友好都市をはじめ、国際交流に興味を持っておられる方の入会をお待ちしています。

会員のみなさまには、協会が催す交流行事のご案内や、協会主催事業への参加費の一部助成、また、年2回発行する協会報を送付しております。

主な活動内容 国際交流の集い

姉妹・友好都市への市民親善訪問

中・高校生の「英語スピーチ大会」など

年会費 個人会員:(一般) 2,000円 (学生) 1,000円

団体会員:一□5,000円

申込先 本協会事務局(茨木市市民文化部文化振興課内) TEL 072-620-1810

協会ホームページ : <http://www.ifai.jp/>

編集・発行

茨木市国際親善都市協会

〒567-8505 茨木市駅前三丁目8番13号 茨木市市民文化部文化振興課内
TEL.072-620-1810 FAX.072-622-7202 ホームページアドレス <http://www.ifai.jp/>



茨木には、次がある。